



## 特集

# 北広島のまちづくり



問合せ 企画課 (☎372-3311・内線3602)

平成30年度の予算が市議会第1回定例会で可決されました。予算の概要と主な事業をお知らせします。

全国的に人口減少が進む中、当市では、子育て環境の充実、定住人口の増加、地域経済の活性化など、地方創生の実現に向けた施策を進めております。近年は、転入者数が転出者数を上回るなど、徐々に効果が表れてきているものと考えております。

平成30年度は、第5次総合計画に掲げる都市像「希望・交流・成長都市」の実現に向け、重要な年であります。計画に掲げる各種施策を推進するため、定住人口の増加や地域経済の活性化、安全で安心なまちづくりを3つの柱とし、予算を計上しました。

定住人口の増加については、シテイセールの推進や子育て支援、住宅購入支援など、引き続き、まちの魅力の発信や子育て環境の充実などに取り組みます。

地域経済の活性化については、輪厚工業団地の完売に向け、引き続き企業誘致活動を行うほか、六次産業化に向けた支援やグリーンツーリズムの推進など、産業振興に取り組み

ます。

安全で安心なまちづくりについては、老朽化が進む公共施設などの改修や補修、自主防災組織への活動支援、防災関係機関と連携した総合防災訓練を実施します。

当市には、利便性の高い都市機能や豊かな自然、優れた人材、観光資源、そしてこれまでに培われた歴史的・文化的資源など多様な魅力があります。

この魅力を最大限に生かし、将来にわたって安心して暮らし続けられるまち、笑顔あふれるまち、着実に成長するまちを目指して、全力でまちづくりを進めていきます。

北広島市長 上野 正三



## 平成30年度の予算

全会計の予算総額は393億945万円です。新庁舎の本体工事が終了したことなどで、前年度と比較して23億2136万円減額しました。

子育て世代マイホーム購入サポート制度やサイクルツーリズムの推進などの継続事業費と、買い物不慣れ者対策やリユース住宅活用サポート制度などの新規事業費を計上しました。

会計名	平成30年度当初予算額	平成29年度当初予算額	増減	増減率(%)	
一般会計	234億7,366万円	250億3,636万円	-15億6,270万円	-6.2	
特別会計	国民健康保険	63億9,757万円	76億3,004万円	-12億3,247万円	-16.2
	下水道	22億5,324万円	20億5,809万円	1億9,515万円	9.5
	霊園	6,965万円	7,204万円	-239万円	-3.3
	介護保険	45億4,810万円	42億1,176万円	3億3,634万円	8.0
	後期高齢者医療	8億4,213万円	8億3,500万円	713万円	0.9
	小計	141億1,069万円	148億0,693万円	-6億9,624万円	-4.7
水道事業会計	17億2,510万円	17億8,752万円	-6,242万円	-3.5	
合計	393億0,945万円	416億3,081万円	-23億2,136万円	-5.6	

# 平成30年度 一般会計の概要



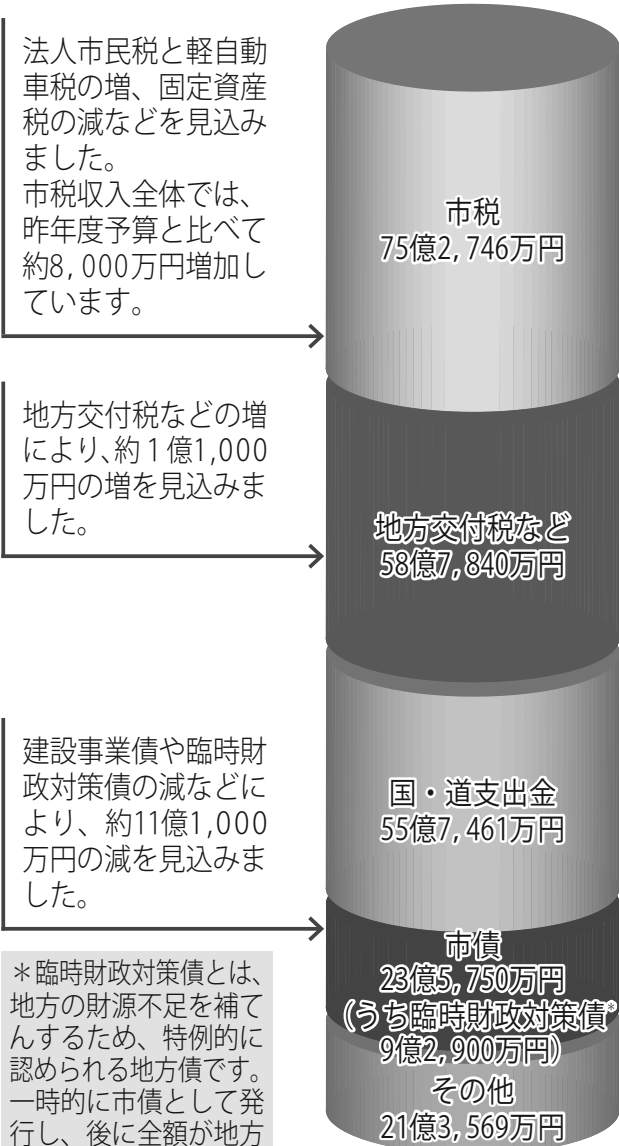
### 歳入

総額 234億7,366万円

総額 234億7,366万円



### 歳出

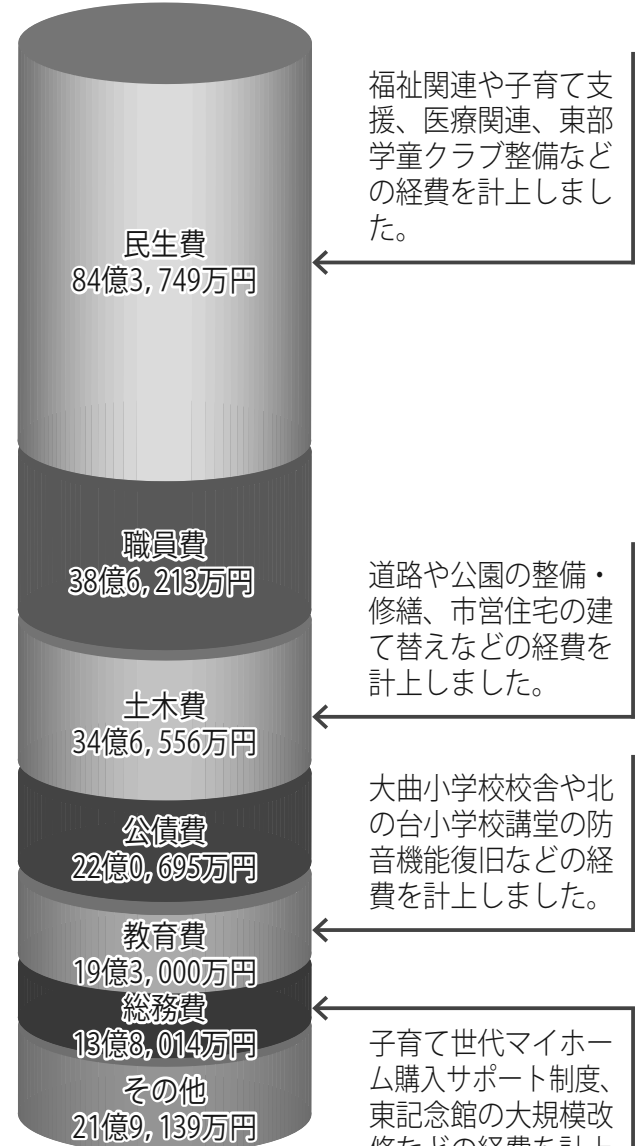


法人市民税と軽自動車税の増、固定資産税の減などを見込みました。市税収入全体では、昨年度予算と比べて約8,000万円増加しています。

地方交付税などの増により、約1億1,000万円の増を見込みました。

建設事業債や臨時財政対策債の減などにより、約11億1,000万円の減を見込みました。

\*臨時財政対策債とは、地方の財源不足を補てんするため、特例的に認められる地方債です。一時的に市債として発行し、後に全額が地方交付税として国から交付されます。



福祉関連や子育て支援、医療関連、東部学童クラブ整備などの経費を計上しました。

道路や公園の整備・修繕、市営住宅の建て替えなどの経費を計上しました。

大曲小学校校舎や北の台小学校講堂の防音機能復旧などの経費を計上しました。

子育て世代マイホーム購入サポート制度、東記念館の大規模改修などの経費を計上しました。

(千円単位以下は四捨五入で表示)



# 安全で安心なまちづくり

## 除雪体制の充実

継続

予算額 6億7,425万円

冬期間の快適で安全な交通確保のため、バス路線や通学路などの除雪体制を充実させます。

## 東記念館の大規模改修

継続

予算額 1億4,442万円

安全で利用しやすい地区住民センターを計画的に整備するため、今年度は東記念館の大規模改修を行います。

## シルバー活動センターの改修工事

新規

予算額 2,688万円

老朽化に伴う改修工事を行います。

## 平和意識の啓発

拡大

予算額 163万円

恒久平和に対する意識高揚を図るため「平和の灯」の維持管理や平和パネル展などを実施します。また、平和都市宣言から30年を記念し、講演会などを行います。

## 市営住宅共栄団地の建て替え

継続

予算額 4億5,421万円

4号棟12戸の建設工事や、5号棟の実施設計を行います。

## 橋梁の長寿命化

きょうりょう

継続

予算額 2億4,449万円

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕工事を行います。

## 学校給食の充実

新規

予算額 985万円

安全で安心な学校給食を充実させるため、調理場の新設に向けた基本計画を策定します。



## 防災訓練の実施

継続

予算額 118万円

災害時の対策を円滑に実施するため、市職員や市民、関係機関を対象に、総合防災訓練を行います。



# その他の事業

## 福祉人材の確保対策

新規

予算額 701万円

介護の基本が学べる「くらしサポーター研修」や、合同相談会などを行います。また、介護や障がい、保育に従事する人材を確保するため、新たに就労支援金などの助成制度を創設します。



## 外国語指導助手の活用

拡大

予算額 1,835万円

小学3～4年の外国語教育先行実施に向け、外国語授業に英語指導助手を派遣します。

## 子どもの貧困対策の検討

新規

予算額 70万円

子どもの貧困に対する実態調査を実施し、調査結果を踏まえた対策の検討を進めます。

## 北海道150年事業との連携

新規

予算額 250万円

北海道命名150年を記念する事業と連携し、寒地稲作発祥の地である当市は、米作りや米の歴史に関するシンポジウムを開催します。



## 部活動指導員の配置

新規

予算額 61万円

生徒の技術力向上や教員の負担軽減のため、モデル校を設定し、部活動指導員を配置します。

# 今年度の主な事業

事業の一部を紹介します。  
詳しくは、市ホームページ「市役所ご案内→行政資料室→市の各種計画→総合計画関係→北広島市総合計画（第5次）推進計画《平成30～32年度》」をご覧ください。



## 定 住人口の増加

### 子どもの医療費を助成

拡大

予算額 1億6,052万円

子どもの医療費を助成します。4月から通院助成を中学生まで拡大します。

### 子育て世代のマイホーム購入を支援

継続

予算額 3,501万円

市内に住宅を購入する50歳未満の方に、30万円を助成します。さらに加算要件（子どもがいる、北広島団地に住宅を購入するなど）を満たすと、それぞれ10万円が加算され、最大70万円を助成します。

### 買い物不便者対策の検討

新規

予算額 229万円

地域のニーズに対応した買い物支援を推進するため実態調査を実施し、対応策を検討します。



### 小中一貫教育の推進

継続

予算額 131万円

確かな学力や豊かな心、健やかな体の3つが調和した「生きる力」を一層高めていくため、小・中学校の9年間で連続した教育活動を進めます。

### 空き家の流動化を促進

継続

予算額 901万円

空き家解体費用の一部として、最大30万円を助成します。

### リユース住宅の活用を支援

新規

予算額 200万円

空き家のリフォーム費用の一部として、最大20万円を助成します。



### 北広島団地のイメージアップ

継続

予算額 196万円

愛称を活用した宣伝や、モニターツアーを行います。

### 産科誘致の推進

新規

予算額 〇万円

安心して出産できる環境を整備するために、産科開設費用に対する補助制度を創設し、誘致を進めます。産科を開設する時に予算を計上します。



## 地 域経済の活性化

### ふるさと納税返礼品の提供

継続

予算額 2,180万円

まちの宣伝と市を訪れる方を増やすため、引き続きふるさと納税返礼品を提供します。

### グリーンツーリズムの推進

拡大

予算額 2,105万円

グリーンツーリズムなどへの取り組みを支援します。

### サイクルツーリズムの推進

継続

予算額 871万円

ツール・ド・キタヒロや、海外の旅行会社とメディアを招くインバウンド招へいツアーを開催するほか、イベントへの出展などを行います。

### 六次産業化などを支援

拡大

予算額 315万円

第一次産業である農林水産業者が食品加工や流通販売にも業務を展開する、六次産業化を推進します。セミナーの開催、商品開発への補助などを行います。